

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| □年の初めに“連携”を考える …………… 1P | □マネジメントセミナー |
| □NPO視察研修 | 「中堅スタッフのためのNPO働き方講座」・3P |
| 知多市/一宮市市民活動支援センター 2P | □「介拓奨学生プログラム」交流会…………… 3P |
| □愛知県 持続可能な社会の創り手育成事業 | □10月から「消費税インボイス制度」…………… 4P |
| みんなで選ぶ「NPOアワード」…………… 2P | □サポちたインフォメーション…………… 4P |

年の初めに“連携”を考える

明けましておめでとうございます。皆様、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

さて、昨年は、総合型地域スポーツクラブエリアネットワーク情報交流セミナーの講師を務めさせていただく機会がありました。総合型地域スポーツクラブとは、人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多趣味）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営される。（スポーツ庁HPより抜粋）とあり、その育成は1995（平成7）年と歴史は長く、地域コミュニティの核としての役割を果たすとも明記されています。今回のテーマは“事業継承～スポーツクラブの10年後を考える～”のため、意見交換は担い手不足に話題が集中しましたが、その運営維持には参加費徴収との意見がある一方、経済的困窮世帯の排除につながるもあり、地域の実情と設立当初の制度設計が不相当になっているようです。非営利運営であり、かつ地域コミュニティの核であるスポーツクラブの特徴を考えれば、福祉との連携が必要だと感じています。

昨年スタートした介拓奨学生プログラムの対象は高校生、多くは通信制に通っています。私たちは資格取得のプログラム導入部での関わりですが、彼らの成長を肌で感じています。（中面詳細をご高覧ください）また、今年度から参加する若者未来応援協議会（半田地域協議会）でも、通信制高校に通う学生へのサポート不足が話題に挙がっていました。家庭教育と学校教育が揺らぐ今、若者をサポートする介拓奨学生プログラムへの応援をお願い申し上げます。市野

サービスラーニング情報交換会

日本福祉大学教育プログラム“サービスラーニング”の目的をはじめ、学生の受け入れやその活動の現状について、SL担当教員もまじえて情報交換を行います。本プログラムに関心のある方も是非、ご参加ください。

日 時 2023年1月18日(水) 10:00～12:00
会 場 メディアス体育館ちた 2階 大会議室
参 加 無料
申 込 1月11日(水)迄 担当:山森

NPOリーダー研修会

テーマは「0歳から100歳、みんなで支えあう地域福祉の実践」。なぜ今、包括的支援体制・重層的支援体制整備が求められるのかを学び、“まちづくり型ふくし”を育んできた市民力による事例を伺います。わがまちの地域共生社会から、NPO活動の次なる展開を共に考えましょう！詳細は、同封のチラシをご参照ください。

日 時 2023年1月18日(水) 14:00～16:30
会 場 メディアス体育館ちた 2階 大会議室
参 加 無料
申 込 1月11日(水)迄 担当:市野

2022介拓アワード(報告会)

今夏、自分の未来を自分で開拓していく道を提案する【介拓奨学生プログラム】に参加した高校生たち。今夏からの軌跡を、保護者による評価も含めて報告します。彼らの気づきや成長を共に喜び、応援しませんか？

日 時 2023年3月19日(日) 13:30～16:00
会 場 新東通信ビル(名古屋市中区丸の内3-16-29)
参 加 無料
主 催 公益財団法人あいちコミュニティ財団

■NPO視察研修

知多市委託「市民協働研修」

一宮市市民活動支援センター主催「現場見学ツアー」

当法人では、NPO視察研修として、行政職員や民生委員、地域の役員などを対象に、様々な目的に応じた研修をコーディネートしている。NPOの活動を実際に見学し、現場の声を直接聞くことで地域課題をより身近に感じ、どんな連携があれば課題が解決できるのかなど、自分たちのできることを考えるきっかけづくりを行っている。

10月31日、知多市入庁2年目職員を対象に、市民協働とは何か、また、NPOの目線を知り、行政の役割とは何かを考える「市民協働研修」にて、現場視察を行った。(N) 知多地域権利擁護支援センター、(N) 市民大学ちた塾からは、設立経緯や活動内容を聞き、現場見学では多世代交流拠点である南粕谷ハウスを訪問した。

さらに、南粕谷地区では、4月からスタートした



南粕谷小内生涯学習ルームでの様子

「地域学校協働活動」を学ぶため、知多市のモデル校である南粕谷小学校協働本部（通称：かすやっ子ラウンジ）の話を聞いた。学校

を核とした地域づくりをめざし、小・中学校区に配置された「ちたっ子コーディネーター」が中心となり、ボランティアの募集や交流講座をはじめとした学校との連携事業の企画運営を行うなど、地域と学校をつなぐ役割を担う。子どもはより多くの地域住民と関わることで、豊かな学びにつながり、住民も地域との結びつきが強くなる。こうした取り組みを見聞し、「まずは自分の住んでいる地域を知ることから始めたい」、「現場を知ること、市民と同じ目線で物事を判断していけると感じた」などの感想があがった。

また、11月12日、一宮市市民活動支援センター主

催の「現場見学ツアー」を行った。知多半田駅前複合施設「クラシティ」内にある半田市市民交流センター、同施設



「クラシカフェ」見学中の様子。
店長から指差し注文のレクチャー中

シカフェへ、さらに、公共のバスを利用して場所を常滑市に移し、みんなの縁がわへ訪問した。

半田市市民交流センターでは、第7次総合計画に基づく協働のまちづくりについて、クラシカフェは、手話や指差しで注文するサイニングストア（手話を共通言語とした店舗）であり、障がいがあるなしに関わらず多様な人が情報交流できる場を設立した経緯を、みんなの縁がわでは、自分の住み慣れたまちで、人との縁を大切にしたいまちづくりにつ



「みんなの縁がわ」での様子。
老若男女が楽しめる地域の居場所

て、コロナ禍においても工夫をしながら活動を続けることなど、話を聞いた。参加者からは、「まちづくりとは10年、20年かけてゆっくり育てていくものだと改めて感じた」、「まちづくりは人と人のつながりである」などの声があった。

地域を知る機会として、また課題共有の機会として、NPO視察研修を活かしてほしい。お気軽に問い合わせを。（安藤）

■愛知県 持続可能な社会の創り手育成事業 みんなで選ぶ「NPOアワード」

11月20日に豊橋市にあるem CAMPUSにて行われた、愛知県主催「みんなで選ぶ『NPOアワード』」に参加した。「みんなで選ぶ『NPOアワード』」とは、愛知県内から

選考された10団体のNPOが、SDGsや地域課題解決に向けた取組や実地体験の企画を発表し、会場の参加者が



取組や企画の発表時の様子

審査員として

「共感した！」と思ったNPOに投票する。その投票結果によって、協賛団体から寄付金が贈呈されるというもの。11月13日に名古屋会場で5団体、11月20日に豊橋会場で5団体が発表を行った。

当法人も、団体の歴史や活動を改めて振り返り、自分たちが地域においてほっとけない課題は何か、それに対して何ができるのかを考え、発表に臨んだ。その結果、約4万円の寄付金をいただくことができた。

私たちがほっとけない課題は、「制度の隙間」。グレーなどところにいる人たちの困りごとが少しでも

解決につながり、誰もが暮らしやすい地域になるとよいと考える。そして、中間支援組織という立場として



発表者と関係者の集合写真

めざす姿は、地域のニーズや困りごとをほっとけない、お節介な人を増やしていきたいと思っている。私たちは、その人たちが一歩踏み出せるように背中を押す存在であり、その人たちだけでは解決できないときには、必要とところ同士をつなぐ役割を果たしていき、誰もが自分らしく、心豊かに、幸せに暮らしていける地域づくりをめざす。

「みんなで選ぶ『NPOアワード』」に参加したことで、自分たちの団体がやってきたことを振り返り、今後のことを考える、よい機会となり、他団体の発表を聞くことも刺激になった。また、自分たちの活動を、どう伝えていったらよいのかという難しさを痛感し、でも、伝えていかなければいけないという重要性を再確認した。(早川)

■マネジメントセミナー

「中堅スタッフのためのNPO働き方講座」

12月9日、マネジメントセミナー「中堅スタッフのためのNPO働き方講座」を開催した。講師は、NPO法人起業支援ネット代表理事、久野美奈子氏。

まず、導入として、当法人の代表理事、市野恵から「知多半島NPOネットワークの成り立ち」について、「困った時はお互いさま」のはじまりや知多半島NPOの設立やネットワークの歴史、分野・市町を越えた情報交流を行うために当法人（中間支援組織）が立ち上がった経緯から、現在取り組んでいる、0歳～100歳の地域包括ケアなどの話があった。

そして、講座の前半は、「NPOで働くということ」。NPOのあるある話を交え、NPOで力を発揮するためにはどんな力が必要か、チーム形成に大切なことやよりよい相互作用を生むためにはどうするのがよいかなどの講義があった。後半は、「NPOでの



講座の様子。働き方を考える機会に

キャリアを考える」として、自分の今までを振り返り、これから実現したいことやありたい姿を考えた。そして、組織と自分の相互作用を

めざしていくことの大切さが強調された。組織と自分の相互作用をめざしていくためにすべきことの1つとして、「組織外のネットワークを大切にしよう」というのがあったが、この講座には、当法人の会員団体の中堅職員に多く参加していただき、知り合う機会にもなり、中堅職員同士だからこそその悩みの共有や経験から刺激し合うことができた。

来年度も、4月頃、新入者向けの「NPOスタッフのための働き方講座」を、11月頃、「中堅スタッフのためのNPO働き方講座」の開催を予定している。詳しくは問い合わせを。(早川)

■「介拓奨学生プログラム」交流会

今年度、当法人は、介護職員初任者研修課程取得をめざす高校生を応援する「介拓プロジェクト」に参画した。介拓プロジェクトとは、(一社)アスパシを中心に、(社福)むそう、(N)ゆめは一と、(一社)日本福祉機構、(合同)P-BEANS、(N)外国人就労支援センターと共に、高校生が学費無償で介護職員初任者研修課程を受けられる機会(介拓奨学生プログラム)をつくることで、①未来の介護福祉を変える人材を増やす、②介護福祉に理解を示す若者が、社会に飛び立つための土台を創る、③介護福祉に関わる環境を変えていくことをめざす。

12月17日、今夏、介拓奨学生プログラムを通じて、初任者研修を修了した高校生14名とプロジェクトメンバー7名が参加し、交流会を行った。全体で、今年度の課題や次年度に向けた改善点を共有し、その後、



交流会参加者の集合写真

高校生が研修終了後から現在までの気づきの発表と、今後の目標設定を行った。高校生の中には、福祉事業所でアルバイト経験を積んでいる人、本格的に福祉を学ぶため進学をめざす人など、成長する姿が見られた。普段の生活においても、自分の苦手を克服したり、ゲストスピーカーとして様々な発表の場にチャレンジする様子も語られ、経験を通して目覚ましい変化を遂げている。さらに自信をつけ、飛躍していくことを願う。

既存の福祉だけでなく、新しい福祉の未来を開拓していく介拓プロジェクト。介護福祉を変えていくこの取り組みが、福祉業界に広がり、もっと多くのところとつながるよう、盛り上げていきたい。

3月19日(日)には、あいちコミュニティ財団主催で、高校生が介拓奨学生プログラムでの経験を発表する「2022介拓アワード」を開催予定。(山森)

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せください。

10月から「消費税インボイス制度」

2023年10月から「消費税インボイス制度」がスタートする。インボイス発行事業者の登録については任意だというのが、どう選択するべきか悩んでいる経営担当者もいるのではないのでしょうか？

10月29日、税理士の大塚久俊先生を講師に、知多市市民活動センターの登録団体を対象に、消費税インボイス制度の勉強会を行った。大塚先生に相談しながら、当法人が選択したケースを参考に紹介する。

まずは、消費税の2つの計算方法「本則課税」、「簡易課税」のどちらにするのかを検討し、「簡易課税」を選択。簡易課税制度では、必ずしもインボイスは必要としないが、①当法人は消費税の申告をしている事業所である、②取引先にインボイスを必要とする事業所がある、この2点から登録を「受けた場合」、「受けない場合」について検討し、インボイス発行事業者の登録を選択した。

10月の制度開始時からインボイスを発行できる「適格事業者番号」を取得するには、3月末までに申請をする必要がある。

●参考:国税庁HP「インボイス制度への事前準備の基本項目チェックシート」

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/0022009-057.pdf>

【インボイス制度】

売手である登録事業者は、買手である取引相手(課税事業者)から求められたときは、インボイス(正確な適用税率や消費税額等を伝えるもの)を交付しなければならない。

買手は仕入税額控除の適用を受けるために、原則として、取引相手(売手)である登録事業者から交付を受けたインボイスの保存等が必要となる。

■NPOのための講座

『ポストコロナ「これからの市民活動のカタチ」』

ポストコロナ時代に合った新たな市民活動のあり方を、活動事例を紹介しながら考える。コロナ禍で活動ができなくなった、人材不足に困っている、新しい活動の手法を知りたい…そんな方におすすめの講座となっている。

〈日時〉2023年1月27日(金) 13:30~15:30

〈場所〉名古屋市市民活動推進センター

〈対象〉テーマに関心のある人ならどなたでも

〈参加費〉1,000円(当日窓口で支払い)

〈定員〉20人

〈主催〉名古屋市

〈企画・運営〉(N)ボランティアネイバーズ

〈問合・申込〉名古屋市市民活動推進センター

☎052-228-8039 FAX052-228-8073

メール npo@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

■「すけっと宅配便」始動

(N)すけっとファミリーは、9月1日から「すけっと宅配便」を始動している。すけっとファミリーの利用者が新型コロナウイルス陽性になった時点で、ゼリーやおかゆ、プリン、飲み物などをお届けする。今までに、10人の利用者に届け、喜ばれた。詳細は、問い合わせを。

〈問合〉(N)すけっとファミリー(担当:加藤)

☎052-861-3980

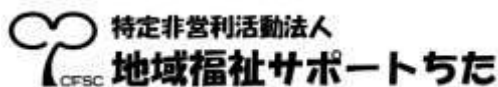
■手づくりカフェ Ada-coda 登録シェフ募集

食を通じて、自分の思いを発信しませんか？手づくりカフェ Ada-codaは、ワンデイシェフ方式で、プロではない市民が自分の思い通りのランチを、日替わりでつくり、お客さんに提供。コーディネーターが常駐するので、初めての人・グループでも、安心して料理に専念することができる仕組みになっている。登録は、年会費2,000円のみ。食品衛生協会が実施する年2回の検便が必須。

〈問合〉(N)地域福祉サポートちた(担当:安藤、幸前)

☎0562-33-1631

メール spchita@ams.odn.ne.jp



〒478-0047 愛知県知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階
TEL 0562-33-1631 FAX 0562-33-1743
メール spchita@ams.odn.ne.jp



◆入会・寄付について◆

活動や組織の基盤となる資金を、会員みなさまからの会費やご寄付で支えていただいております。団体の理念や事業に賛同していただき、ご支援ください。

【年会費】

○正会員／(団体)15,000円 (個人)5,000円

○準会員／(団体)5,000円 (個人)3,000円

【振込先】

三菱UFJ銀行 知多支店 (普)1413965

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた